

Ⅲ 和歌山市の産業の強み、弱み

1 強み、ポテンシャル

インフラ整備の進展によるアクセス性のさらなる向上

- 関西国際空港から約40分というアクセスの良さに加え、阪和自動車道のインターチェンジ増設（平成30年度に現在の2箇所から3箇所に増設予定）、第二阪和国道（平成28年度に岬ランプ～大谷ランプが開通予定）の整備等によりアクセス性の向上が見込まれ、さらに、京奈和自動車道（平成28年度に紀の川～和歌山間が開通予定）の整備により、奈良・京都方面、伊勢・名古屋方面とのアクセス性も向上することで、企業競争力の強化、企業立地の推進、観光誘客の拡大、市民生活の利便性向上といった効果が期待できる。

競争力の高い製造業の集積、長い歴史のある地場産業の集積

- 製造業は、鉄鋼業、化学工業、はん用機械器具製造業が付加価値と雇用の多くを生み出しており、食料品製造業、生産用機械器具製造業、繊維工業等が雇用面での貢献が大きく、これらの集積により、他の中核市と比較しても規模や競争力が高い水準にある。

和歌山市の製造業（中核市42市中）

	中核市42市中の順位	金額
製造品出荷額	8位	1,499,710,170千円
付加価値額	5位	552,551,130千円
労働生産性	2位（1位は豊田市）	25,050千円

（出典 H25年工業統計調査）

- 鉄鋼業等の大企業とともに、化学工業、食料品製造業、機械器具製造業、繊維工業などに多いと考えられるコネクタハブ企業（※）、独自の高い技術を有するオンリーワン企業やニッチトップ企業といった中小企業が地域経済を牽引している。

- ①「元気なモノ作り中小企業300社（2006年～2009年）」（中小企業庁選定）
- ②「KANSAIモノ作り元気企業100社（2007年～2011年）」（近畿経済産業局選定）
に選定されている市内企業

2006年 ①選定 6社	◆アクロナイネン(株) ① わが国で始めてダイカストによる小型エンジン用ピストンの開発に成功。小型エンジン用遠心クラッチで国内シェア約90%を占める。 ◆紀州技研工業(株) ① 大きな飛距離を持つ独自のインクジェット技術を武器に、段ボール等の産業向け印字分野で国内トップのメーカー。大文字用インクジェットプリンターの国内シェア約55%を占める。
-----------------	--

	◆新中村化学工業㈱ ① アクリル系樹脂の開発及び量産化技術を確立し、プリント基板用樹脂材料の国内シェア約30%を供給。 ◆㈱東洋精米機製作所 ① 世界で初めて無洗米製造機の開発に成功。無洗米の国内シェア70%を占める。 ◆阪和電子工業㈱ ① 静電気放電技術を用いて半導体の品質管理に不可欠な評価・解析用検査装置を開発・製造し、国内シェア約70%を占める。 ◆和歌山精化工業㈱ ① 独自の科学技術を駆使し、高機能ポリマー原料や黄色系顔料中間物の世界的な原料メーカーの地位を築く。
2007年 ①選定 3社 ②選定 1社	◆笠野興産㈱ ①② 化学をベースにした技術を持ち、塗料樹脂用架橋剤を製造。化学製品を起点に医薬品、食品など新事業にも積極的に参入。 ◆高木彫刻㈱ ① 布地プリント用捺染ロールの彫刻に初めてフォトエングレイビングを開発、導入。ロール彫刻専門業者として国内トップシェアを占める。 ◆フクセン㈱ ① 繊維製品の生地に抗菌、召集、保湿、美肌効果等を有する薬剤を付着させる加工技術を開発。
2008年 ①選定 1社 ②選定 1社	◆太洋工業㈱ ①② 試作用FPC（フレキシブルプリント配線板）について国内トップシェア。
2009年 ①選定 1社 ②選定 3社	◆和歌山染工㈱ ①② 羽毛布団用生地加工では国内生産シェア約70%を占める。国内染色加工業界のトップメーカー。 ◆尾高ゴム工業株式会社 ② 鉄鋼金属向けゴムロールは国内シェアトップ。豊富なゴム品種と独創的なロールで各分野の生産現場を支える。
2010年 ②選定 3社	◆株式会社インテリックス ② オーダーカーテンは機械化が難しいという常識を覆し、カーテン縫製におけるIT化、多品種・小ロットのオーダーに対応できるシステムの開発、大規模かつ高度な機械化を推進。 ◆小西化学工業 ② 昭和44年に生産を開始したスーパーエンジニアリングプラスチック原料「ビスフェノールS」を主力商品とし、世界的大手

	化学企業にも技術ライセンスを提供するほどの実力を持つ。 ◆スガイ化学工業 ② 医薬・農薬・機能性の3分野を柱に、高品質の製品供給力と独自の研究活動に基づいた提案力によって国内外の多くの企業から開発・生産において欠くことのできないパートナーとして実績を積み上げている。
2011年 ②選定 4社	◆アクロナイネン株式会社 ② 2006年に①元気なモノ作り中小企業300社に選定 ◆柏木鉄工株式会社 ② 連続鋳造の鋳型製作に独自のノウハウを持ち、長年の実績と技術の蓄積で顧客との信頼関係を築く。2007年からはシームレスパイプのテストピース加工に取り組む。 ◆株式会社日本化学工業所 ② 高品質な環境対応型染料や蛍光増白剤などの改良・開発を強化し、電子材料や新エネルギー分野向けの特種機能製品にも積極的に取り組む。 ◆三木理研工業株式会社 ② 杉・ヒノキなどの軟らかい木材に注入することで、硬い付加価値商品に生まれ変わらせることができる独自の樹脂を開発。長年、研究・新規開発に力を注いでいる。

※コネクターハブ企業

地域経済への貢献が高い企業。具体的には、地域からより多くの仕入を行い（取引関係の中心、ハブ機能）、地域外に販売している（他企業との取引をつなげる、コネクター機能）企業。

- 丸編みニット生地生産量では全国1位、約4割のシェアを誇る繊維工業、国の伝統工芸品に指定されている紀州桐箆笥などを生産する家具製造業、兵庫・東京とともに和歌山が三大生産地に数えられている皮革などの歴史ある地場産業が集積している。

和歌山市企業立地奨励制度の拡充によるさらなる企業立地の推進

- インフラの整備の進展によるアクセス性のさらなる向上に加え、平成27年度から本市の企業立地促進奨励金制度を近畿圏でもトップクラスの制度内容に拡充したことなどにより、企業が立地選定時に重要視する「用地価格」「交通条件」が改善され、今後、企業立地件数が増加することが見込まれる。

和歌山市企業立地促進奨励金の主な拡充内容

対象業種の拡大	◆物品の製造事業、物流関連事業、特定サービス事業、レクリエーション事業にオフィス施設（空きビル活用等）と完全人工光型の植物工場を追加。 ◆まちなかエリアの商業地域に小売業（1000㎡以上）を追加。
---------	--

交付要件の緩和	◆規模別、業種別で定めていた投下固定資産総額要件を緩和し 2000 万円に統一。 ◆増設の場合の投下固定資産総額要件を 1000 万円に引き下げ。 ◆新規雇用者に転勤転入者を含める。 ◆雇用のみ奨励金の人数要件を緩和。
奨励金額の増大	◆用地取得額の 10%を交付。 ◆土地にかかる固定資産税と都市計画税相当額を奨励金に追加。
大規模立地奨励金の対象を拡大	◆製造業の新設から奨励金の交付対象である全て新增設等に交付対象を拡大。
本社機能移転奨励金の新設	◆投下固定資産総額 2000 万円以上、新規雇用者 10 人であれば大規模立地と同様の奨励金を交付。

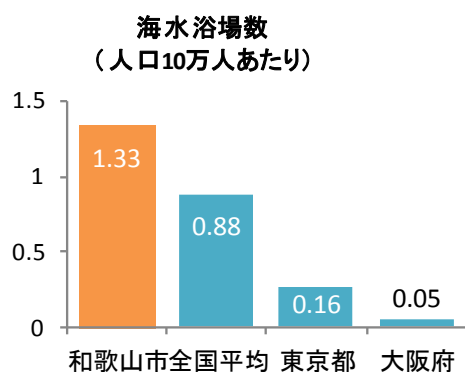
和歌山市が有している魅力的な観光資源の数々

- 本市には、国指定重要文化財建造物の数や海水浴場数などが多く、歴史、文化、景観、レジャーなどを楽しめる数多くの地域観光資源を有している。また、本市周辺地域には高野山や白浜など知名度・人気の高い観光スポットがある。

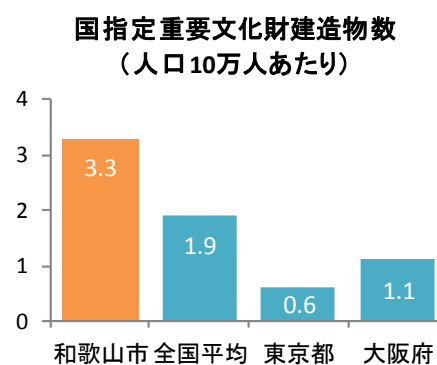
和歌山市の主な観光地

観光地名	特徴
和歌山城	徳川御三家の居城としての歴史を持つ本市のシンボルであり、姫路城、松山城とともに日本三大連立式平山城と呼ばれ、隣接する西の丸（紅葉溪）庭園は国の名勝に指定されている。近年は中国や台湾などアジア諸国からの外国人観光客も急増しており、平成 26 年中の天守閣への入場者は 18 年ぶりに 20 万人を超える。
友ヶ島	第 2 次世界大戦の終戦まで旧日本軍の軍用地となっていた島。戦時中の施設や砲台跡などが多く残されており、近年ではその景観が魅力となって国内外から多くの観光客が訪れている。
和歌の浦	「万葉集」にも詠まれた風光明媚で雄大な景色が広がる景勝地で国の名勝に指定されており、東照宮や不老橋など紀州徳川家ゆかりの歴史的な遺産も多い。全盛期に比べるとホテルや旅館の数も減少しているものの、平成 24 年には和歌浦漁港に新鮮な魚介類を直販価格で販売する「おととつと広場」がオープンするなど、地域活性化に向けた取り組みも進められている。
片男波海水浴場	和歌浦にある砂浜の長さが 1,200m と和歌山県内でも随一の規模の海水浴場。環境省が選定する快水浴場百選において、全国で 12 箇所しか選ばれていない海の部特選に選定されている。

和歌山電鉄貴志川線 (伊太祁曽駅・貴志駅)	猫駅長の「たま駅長」や「ニタマ駅長」、「いちご電車」や「おもちゃ電車」など個性的なデザインの車両などで一躍有名になった本市と紀の川市をつなぐローカル線。国内外を問わず観光客にも人気のスポットとなっており、全国からローカル線が生き残るためのお手本として現在も注目されている。
紀伊風土記の丘	国の特別史跡に指定されている「岩橋（いわせ）千塚古墳群」の公開と保全を目的とした県立の博物館施設。総面積約65万㎡の園内全体がひとつの博物館で古墳や文化財民家、万葉植物園、復元竪穴住居、資料館などの文化財に加え、四季折々の花を楽しむなどハイキングコースとしても親しまれている。



(出典 全国観光情報データベース)



(出典 文部科学省・文化財指定等の件数)

本市周辺地域の人気・知名度の高い主な観光スポット

高野山	2004年に「紀伊山地の霊場と参拝道」の一部としてユネスコの世界遺産に認定され、2015年には開創1200年を迎えた和歌山県を代表する歴史的観光スポット。特に近年は、国内観光客のみならず、和歌山市にはあまり訪れることのないアメリカやヨーロッパ諸国、オーストラリアといった地域からの外国人観光客が急増している。
熊野古道	2004年に「紀伊山地の霊場と参詣道」の一部としてユネスコの世界遺産に認定された熊野三山（熊野本宮大社・熊野速玉大社・熊野那智大社）へと続く参拝道。古くより上皇・女院から庶民にいたるまで多くの人々が通った参拝道には、現在様々なウォーキングコースがある。
南紀白浜	古くからの温泉地として知られる南紀白浜温泉や椿温泉、南紀最大の海水浴場であり毎年全国から多くの海水浴客が訪れる白良浜、国内最多の7頭のジャイアントパンダが生息するアドベンチャーワールドなど、全国有数のリゾート地。年間宿泊客数では本市を上回っている。

ブランド化や6次産業化の可能性を秘めた和歌山市及び周辺地域の農林水産物

- 高品質で域外からの人気も高い布引だいこん、山東のたけのこ、加太のマダイ、わかしらす、アジアカエビ、はもなどの農林水産物があるなど、デザイン性やブランド力を強化することで、より付加価値の高い地域ブランドとして育っていく可能性のある資源を有している。
- 和歌山県は、みかん、はっさく、かき、うめなどで生産量全国1位を誇る果樹王国で、本市を含む和歌山経済圏（和歌山市、海南市、有田市、岩出市、紀の川市、紀美野町）でも、みかん、はっさく、かき、もも、キウイフルーツなどの果樹生産が盛んであり、本市の製造業やサービス業と連携して6次産業化を推進できる可能性を秘めている。

和歌山県の主な果樹生産

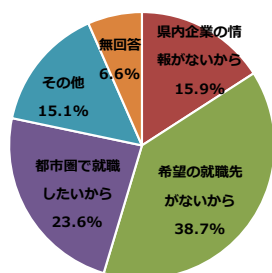
品目	和歌山県		全国	生産量全国順位 (都道府県)
	生産量	全国シェア	生産量	
みかん	168,900 t	18.9%	895,900 t	1位
はっさく(※)	24,326 t	70.3%	34,618 t	1位
かき	48,200 t	22.4%	214,700 t	1位
もも	9,590 t	7.7%	124,700 t	4位
キウイフルーツ	3,470 t	11.4%	30,400 t	3位
いちじく(※)	2,333 t	16.0%	14,568 t	2位

(出典 H25 年農林水産統計 ※については H24 年特産果樹生産動態等調査)

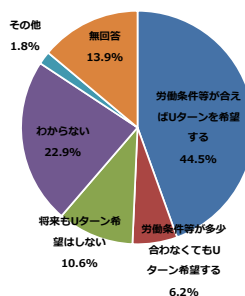
ふるさと和歌山市を愛する多くの若い人材

- 和歌山県が実施した大学生等の就職意識調査結果では、対象者全体の46.4%が県内での就職を希望している。また、県外で就職したいと回答した者の理由を見ると半数以上が積極的に県外へ就職したいというわけではないことがわかる。さらに、「県外で就職したい」、「特定の地域にこだわらない」と回答した者のうち過半数がUターンを希望していることから、市内企業のさらなる魅力向上と企業情報のPR等により、県外就職者のUターンを促進できる可能性が高い。

「県外で就職したい」と回答した者の理由



「県外で就職したい」、「特定の地域にはこだわらない」と回答した者の将来のUターン志向



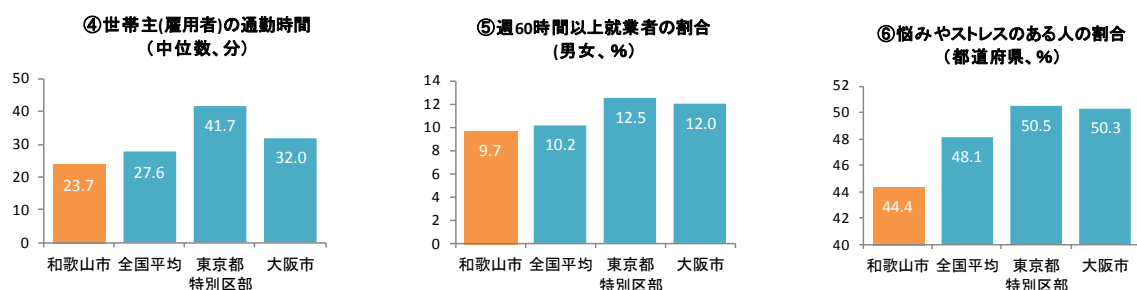
(出典 和歌山県 H28 年3月卒業予定の大学生等の就職意識調査)

東京や大阪などの都市部と比較して有利となる様々な生活利便性

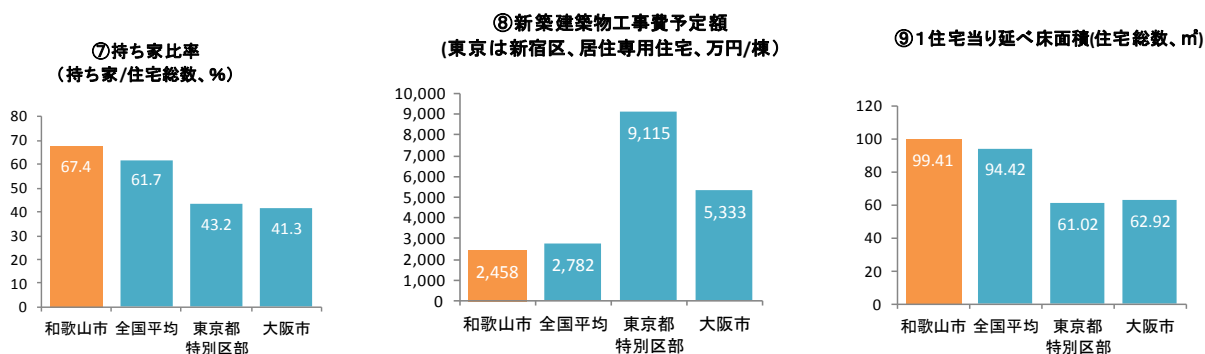
- 平均月給や商品・サービスの豊富さでは東京都などの都市部にかなわないものの、大阪市までのアクセスが約1時間という立地に加えて本市が中核市として有する都市機能等により、都市部と比べて生活利便性が高い点が多くある。

	和歌山市	全国平均	東京都特別区	大阪市
①大卒初任給	19 万円	20 万円	21.2 万円	20.4 万円
②高卒初任給	15.4 万円	15.9 万円	16.8 万円	16.8 万円
③民間家賃	48,147 円	60,423 円	90,674 円	61,229 円

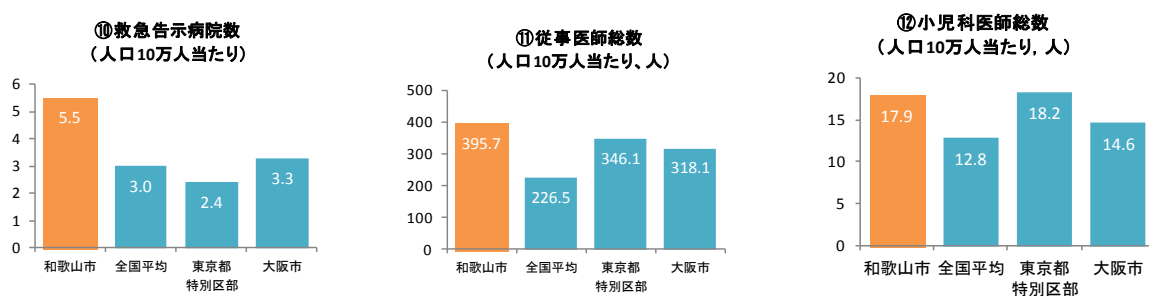
◆プライベートが充実するまち



◆マイホームの夢がかなうまち



◆医療、子育てに安心なまち



本市は、日本創生会議（平成27年6月）により医療介護体制が整っている41圏域に選ばれている。

出典

①②H26 賃金構造基本統計調査【企業規模 10 人以上】 ③④⑦⑨H25 住宅・土地統計調査 ⑤H24 就業構造調査
⑥H25 国民生活基礎調査 ⑧H26 建築着工統計調査 ⑩H25 医療施設調査 ⑪⑫H24 医師・歯科医師・薬剤師調査
⑬H26 厚生労働省記者発表資料

2 弱み

開業率の低さ、第3次産業の低い生産性、景気の影響を受けやすいなど、本市の産業全体が抱える弱点

- 開業率が全国、和歌山県と比較しても低く、新たな産業が生まれにくい状況にある。

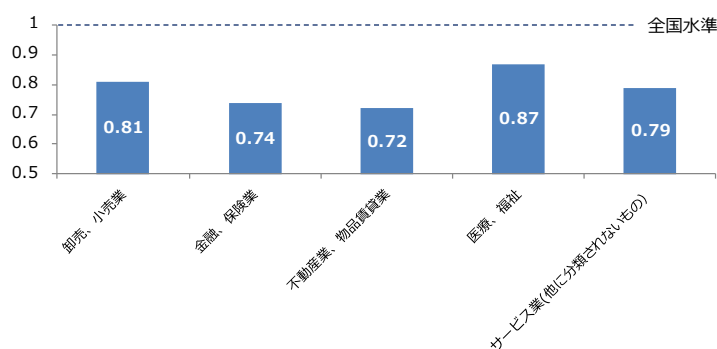
開業率と廃業率の比較

	和歌山市	和歌山県	全国
開業率	1.39%	1.44%	1.84%
廃業率	5.65%	5.58%	6.36%

※H21年経済センサス基礎調査からH24年経済センサス活動調査までの期間に開業・廃業した個人、法人（会社以外の法人を除く）の事業所数を1年当たりの数字にならし、H21年経済センサス基礎調査時点で把握された事業所数で除して算出。

- 小売業、卸売業、サービス業などの第3次産業の全国比較での労働生産性が低い。また、中心市街地商業は衰退しており、空洞化が問題となっている。

和歌山市の主な第3次産業の労働生産性（全国＝1）



(出典 H24年経済センサス活動調査より作成)

- 全国平均に比べて製造業の占める割合が高い産業構造のため、景気の影響を受けやすい。

リーマンショック時における和歌山市内総生産、和歌山県内総生産、国内総生産の下落率

	H19年からH21年の総生産下落率
和歌山市内総生産	△10.4%
和歌山県内総生産	△7.8%
国内総生産	△8.2%

(出典 内閣府国民経済計算 和歌山県市町村民経済計算より作成)

日帰り客の割合が高く、数ある観光資源を活かしきれていないことによる観光消費額の少なさ

- 県内他都市と比べて観光客に占める宿泊者数の割合が少ないこと、数ある観光資源について魅力を打ち出して際立たせることができていないこと、観光客にお金を消費してもらう場の提供や仕組みづく

りができていないことなどにより、滞在型の観光に至っておらず、観光消費額が伸びにくくなっている。

和歌山市・和歌山県・白浜町の宿泊客数と日帰り客数（延べ人数）

	和歌山市	和歌山県	白浜町
観光入込客数	6,182,881	30,821,244	3,274,419
うち宿泊客数	752,471（12.2%）	5,181,239（16.8%）	1,960,644（59.9%）
うち日帰り客数	5,430,410（87.8%）	25,640,005（83.2%）	1,313,775（40.1%）
人口1人当たり 観光入込客数	16.7人	30.8人	144.3人

（出典 H26 年和歌山県観光客動態調査報告書 H22 年国勢調査）

1人当たり観光消費額（実人数ベース）

日帰り客1人当たり観光消費額	7,646円
宿泊客1人当たり観光消費額	30,807円

（出典 H20 年和歌山県観光統計調査）

完成品の提供が少なく、ブランド化の取り組みが進んでいないことによる地域資源の認知度の低さ

- 本市地場産業（化学工業、繊維工業、皮革など）は基礎素材・中間財生産のウェイトが大きく、付加価値の高い製品がある一方で、完成品の生産に至っていないため、十分な付加価値を生み出しきれていないケースも多い。これら地場産業や農林水産物などの地域資源はあるものの、その認知度やブランド力を高めることができていない状況となっている。

地域ブランド調査 項目別ランキング（近畿地域県庁所在都市の比較）

※全国の1,000市区町村が対象

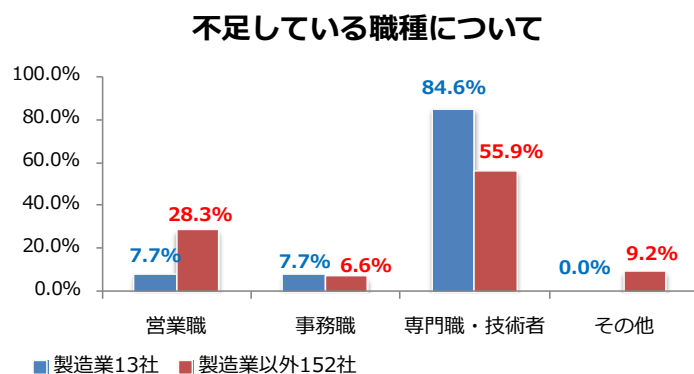
府県	和歌山県		滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県
対象市	和歌山市	田辺市	大津市	京都市	大阪市	神戸市	奈良市
魅力度	165位	475位	222位	3位	42位	7位	35位
認知度	85位	582位	136位	1位	7位	3位	28位
情報接触度	160位	548位	159位	8位	4位	12位	57位
観光意欲度	171位	776位	342位	3位	52位	10位	28位
住居意欲度	285位	440位	146位	3位	27位	3位	46位
産品購入意欲度	92位	326位	365位	5位	46位	52位	129位
食品	76位	268位	364位	9位	38位	48位	156位
食品以外	587位	510位	243位	10位	194位	108位	52位

（出典 ブランド総合研究所「第9回 地域ブランド調査2014」）

大学などの教育機関の少なさ、地元企業情報の発信不足等による若年層の市外流出と人材不足

- 本市には理系の大学・高等学校が和歌山大学システム工学部や県立和歌山工業高等学校しかないことから、特に製造業（化学工業、機械器具製造業等）では市内で若い専門職や技術者を募集するのに苦労するという声が聞かれる。

平成 24 年和歌山市事業所アンケートにて、人材（若年者）が「やや不足」「かなり不足」と回答した事業者に聞いた「不足している職種」



- 和歌山県の高校を卒業した学生の進学先は9割が県外となっており、和歌山市においても15～29歳という若年層の市外への転出者数が他の年齢層に比べて多くなっている。

和歌山市からの全転出者数（H25年）	8,267人
うち15～29歳の転出者数 （全転出者数に占める割合）	3,380人 (40.9%)

和歌山市の労働市場が抱える弱点

- 医療福祉分野の専門的・技術的職業で人手不足が顕著となっている一方、事務的職業では求人数の2倍以上の求職者がいる状況にあるなど、求人者が求める人材と求職者のキャリア・スキルとの間にミスマッチが生じている。

職業別有効求人倍率（平成27年3月）

和歌山職業安定所管内の有効求人倍率	1.08
看護師・保健師・社会福祉の専門職等の専門的・技術的職業	2.27
事務的職業	0.39
販売の職業	0.95
生産工程の職業（製造業）	1.00

（出典 ハローワーク和歌山 職業別求人・求職バランスシート）

- 今後、少子高齢化の進展により構造的な人手不足に直面し続ける地域経済において重要であると考えられる女性と高齢者の就業率が全国平均と比較して低い状況にある。

